

-第1号議案 令和2年度社会福祉法人三環舎事業報告書

1 利用定員

	あしたば園	夢来夢来	夢来夢来
就労移行支援	0	10	
就労継続支援 B 型	16	20	
自立訓練	6		
生活介護	18		
就労定着支援			12
計	40	30	12

- 2 職員数** あしたば園 19 名（常勤換算 15 人）
 夢来夢来 18 名（常勤換算 15 人）
 あまみ就業・生活支援センター 4 名
 チャレンジドサポート奄美 6 名 計 47 名（R3.3.31 現在）

3 主な実績等

① 通所者数

	あしたば園				夢来夢来			
	就労B	自立訓練	生活介護	小計	就労移行	就労B	小計	就労定着
定員	16	6	18	40	10	20	30	12
4月	13.0	3.9	14.8	31.7	8.7	15.4	24.1	11
5月	15.0	2.0	13.4	30.4	8.6	15.4	24.0	11
6月	15.8	2.0	14.6	32.4	8.7	15.3	24.0	11
7月	15.9	2.0	15.5	33.4	8.6	16.1	24.7	10
8月	15.8	1.9	14.3	32.0	8.3	13.3	21.6	11
9月	13.9	2.0	12.9	28.8	8.0	12.9	20.9	11
10月	15.3	1.3	16.4	33.0	9.0	14.3	23.3	11
11月	15.6	1.3	15.4	32.3	9.0	13.9	22.9	12
12月	16.8	1.2	15.4	33.4	8.4	13.5	21.9	12
1月	15.8	1.2	15.5	32.5	8.6	12.7	21.3	13
2月	16.2	1.1	17.0	34.3	9.8	14.1	23.9	13
3月	16.3	1.0	16.7	34.0	9.7	12.3	22.0	13
月平均	15.5	1.7	15.2	32.4	8.7	14.1	22.8	12.6

② 工賃（4～3月） 総額 17,122,500円

	あしたば園			夢来夢来	
	B 型	自立訓練	生活介護	就労移行	B 型
総額	6,164,850	439,700	1,191,800	2,582,325	6,743,825
平均利用者数	18	2	19	10	18
平均月額	28,964	18,321	5,227	21,519	31,041

4 活動の内容と成果

令和2年度はコロナウイルス感染症予防の為、行事など利用者と職員のみで行うことが多く、家族会や地域との交流などを縮小せざるを得なかった。一方で、オンラインでの研修がすすみ、全国規模の研修にも積極的に参加することが出来た。

- ① 令和2年度は、3名（あしたば園1名、夢来夢来2名）が就職して巣立っていった。また就労定着支援が一昨年7月より開始され、就職した方の定着支援に取り組んだ。定着率は100%である。
- ② 工賃向上のための取り組みとして、商品開発委員会を実施。夢来夢来ホームページの検討、ロゴシールやのぼり旗の作成、新作パンの検討、レトルトカレーの開発、バジルソースの開発などを行った。ふるさと納税で島じゅうりの売上げが堅調であった。その結果、就労継続支援B型の平均工賃が、夢来夢来で目標とする3万円を達成、あしたば園も26,900円となった。
- ③ 開所日数を月1日増やし、あしたば園・夢来夢来合同のレクリエーションを行い、好評であった。また月1回「あしたば園だより」を発行してご家族にも活動の様子を見える化するようにした。
- ④ 生活支援アプリの取り組みと余暇活動支援は、少し慣れてきて参加者が増加した。また全国オンライン飲み会など全国交流会にも参加し、楽しい催しとなった。
- ⑤ あまみ就業・生活支援センターでは、「あまみなかぼつ便り」を作成し、登録者や地域の事業所等に配布した。
- ⑥ 相談支援事業所チャレンジサポート奄美では、心理士相談会に学校からの申し込みが多く、もぐもぐ外来にも保健師や児童関係事業所から多くの申し込みがあった。また保育所などでの運動遊び支援も定着している。
- ⑦ 障害年金の説明会を行った（職員、保護者、大島養護PTA）
- ⑧ 「業務改善委員会」では、各事業所の課題について話し合い、また、職員の処遇改善のため給与体系の見直しを行った。
- ⑨ 利用者へのアンケート、職員の自己評価は実施できなかった。

主な行事は以下のとおり。

- 5/30 大浜海岸遠足
- 6/20 1日遠足（りゅうゆう館）
- 7/4 あしたば園夏祭り
- 8/8 水泳教室（プール）
- 9/19 お楽しみ運動会
- 11/22 利用者交流会（バイキング、自衛隊見学）
- 1/9 もちつき、成人の祝い
- 2/13 大和村花見、野生生物保護センター

その他

奄美看護福祉専門学校実習、大島養護学校実習など

【あしたば園】

《製造班》

製造班は、「ラスク及び菓子製造」、「島じゅうり」の二班で活動している。

ラスク及び菓子製造班は、従来商品に加え、今年度も、クッキーシューとチーズケーキ、シフォンケーキが好評で安定的に売り上げている。

島じゅうり（加工場）では、あしたば園で収穫出来たネギやバジルを加工し、おにぎりや総菜・弁当を製造し、夢来夢来で販売した。また、ふるさと納税やサイトからの申し込みも多く、特に「鶏飯」は安定的に受注が増加し、各販売先での人気も継続している。奄美カレーの開発を行い、新商品として販売している。

ケーキ・ラスク 644 万円（前年度比△155 万円） 島じゅうり 1,251 万円（△11 万円）

《委託作業》

あしたば園の畑で、ピーマン、ジャガイモ、小松菜、大根などを収穫した。島じゅうり加工場で使用するつわぶきも栽培している。また優先調達による官公庁の印刷・剪定・草刈り作業にも取り組んだ。またパルムからの委託を受けて、たんかん洗い作業にも取り組んだ。名刺印刷にも取り組み、官公庁よりの受注を行っている。

《生活介護》

日々の活動計画に基づいて、障害の程度に合わせた軽作業を行っている。販売活動は、利用者さんの楽しみでもあるが、コロナの影響でほとんど出来なかった。

月に1回、交代で「夢来夢来」のカフェへ出向き、それぞれに好きなパンと飲み物を購入し、お茶の時間を過ごしている。

今年度からは、作業療法士による、リハビリも行っており、毎日の積み重ねで利用者さんに成果が出てきている。

スヌーズレンの活動も継続。スヌーズレンルームで一時的ないらだち、不安感の解消など利用者のリラクゼーションに取り組んでいる。

今年度は、生活介護の取り組みの質的見直しを行い、車椅子ダンスやお花見、一日遠足、おやつ作り（月一回）、ハロウィン・クリスマス・節分や餅つきなど楽しいイベントを行っている。

また、生活介護班の生産活動として、廃油石鹸作り、アクリルたわし作り、つわぶきの皮むき、箱折り、シール貼り、袋作り等を行い、繰り返しによって働く力がついてきている。

【夢来夢来】

《製造班》

パン製造班は、徐々に力をつけ、多数の新商品製造に尽力し、多数のお客様が来店する人気店となっている。売上 2,394 万円（△136 万円）。また納品分として幼稚園からの注文が増加し、447 万円（+216 万円）と多くなった。

《販売班》

店舗では元気よく対応し、お客様に親切なお店として好評で、1 日平均 150 名のお客様に対応している。また移動販売班は、市役所、老人施設他たくさんの方々の場所で移動販売を行っている。お客様の障がい者に対する理解をいただきながら、接客の力をつけている

《喫茶・ランチ班》

コーヒー、島じゅうりランチ、鶏飯丼、島じゅうり弁当（500 円、250 円）など好評でほぼ毎日売り切れである。また、奄美カレー、軟骨丼もご好評いただき、更に賑わ

いを増している。原価率が高いため、原材料の見直しが必要である。

《清掃班》

サービス付き高齢者住宅「ゆとりあん」の清掃作業、退所時清掃、ワックスがけを通して、作業スキルを身に付け一般就労への力をつけている。

- ・幸栄パチンコ店ワックスがけ（月1回）、ワックス剥離作業（年1回）
- ・むかいクリニックワックスがけ
- ・夢来夢来、あしたば園ワックスがけ

《奄美市食の自立支援事業》

奄美市が行う訪問給食サービスの委託を受け在宅の高齢者に対して、温かい食事を配食することにより、栄養の改善や、安否の確認等を行っている。

《厨房班》

むかいクリニックの厨房で食器洗浄、仕込み、盛り付けなどを行い、スキルアップに役立っている。

《就労支援》

就職への意欲は高く、就職者2名 実習延べ10名であったが、それぞれ力をつけているので来年度に期待したい。

《その他の取り組み》

アプリを活用した余暇支援の活動

中京大学の協力により、生活支援・余暇支援アプリ、ライフログを使い、メンタルチェックや余暇活動の打ち合わせ等を行う。オンライン飲み会や全国交流会、余暇活動（交流会、食事会等）を実施した。

【あまみ障害者就業・生活支援センター】

令和2年度の活動実績について

《支援実施状況》（令和3年3月31日現在）

□登録状況（性別）

区分	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計（人）
男性	37	69	74	16	196
女性	21	37	41	11	110
合計	58	106	115	27	306

□登録状況（現状別）

区分	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計（人）
在職中	30	55	32	15	132
求職中	28	45	75	10	158
その他	0	6	8	2	16
合計	58	106	115	27	306

□実習・就職件数

区分	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計（件）
職場実習	2	14	11	1	28
就職	3	12	7	1	23

登録者における男女比は、男性が64%、女性が36%で、障害別では、概ね身体障害者19%、知的障害者35%、精神障害者37%、その他9%となっている。

また、登録者における在職者の割合は、43%余りである。

実習、就職件数については、コロナ禍の影響があったものの当初目標に近い件数となった。主な実習先や就職先としては、例年同様福祉施設や病院等での調理補助や清掃が多かった。公的機関での就職が3件あった。

《障害者就業開拓推進員の配置》

県雇用労政課の非常勤職員として、障害者就業開拓推進者が1名駐在し、求人開拓や雇用関係情報の収集などの業務に従事して頂いている。（平成26年度から継続）

《離島訪問等》

年度当初は、コロナ禍の影響で計画的どおりに離島訪問できなかったが、調整により概ね例年通りに離島訪問することができた。それにより関係機関との情報共有や登録相談会、事業所開拓等を行うことで実習や就職支援、定着支援、生活支援に繋がった。また、本島内6地区でも登録相談会を開催した。

【離島における訪問回数】

（喜界島）4回 （徳之島）3回 （沖永良部島）3回 （与論島）2回

《在職者交流会》

在職者を対象にした交流会を3回実施し、就労面や対人関係等の悩みなどを共有した。

課題の解決や就労意欲のモチベーションの維持を図ることで定着につながっている。

- ① 7/8 「新しい生活様式について」「ボーリング」 参加者6名
（センター職員対応）
- ② 10/17 「あなたならどうする？モノを買う時買った時」「グランドゴルフ」 参加者12名
（県大島消費生活相談所調査員 中村由美氏）
- ③ 12/19 新型コロナウイルス感染拡大により中止
- ④ 3/14 「パーソナルスペースを学ぶ」「奄美野生生物保護センター見学」 参加者10名
（あしたば園生活支援員 向井春香氏）

《ピアサポート交流会》

奄美地区地域自立支援協議会主催研修会をリモートで視聴し、その後意見交換を行った。

日 時：3月11日（木）14：00～ 場 所：センター相談室

講 師：日本メンタルヘルスパイアサポート専門員研修機構代表理事 内布智之氏

参加者：5名（当事者4名、保護者1名）

《障害者支援担当者交流会》

企業において、障害者支援を担当する支援者を対象に、当センターの活動状況やハローワーク担当者による制度説明等を行い、その後参加者によるグループワークを開催した。

日 時：3月4日（木）13：30～ 場 所：奄美市社会福祉センター会議室

参加者：9社10名

《関係機関との連携》

地域で開催される各会議等に参加し、センターの周知を図り、就労支援の為のネットワーク作りを強化することで、連携体制を築いている。

○奄美地区地域自立支援協議会

(全体会、運営委員会、定例会、就労支援部会、精神部会)

○大島地区就労ネットワーク会議 (1回)

○鹿児島県障害者就業・生活支援センター連絡会 (2回 うち1回は書面、1回はリモート)

○鹿児島県障害者就業・生活支援センター業務担当者会議 (4回 うち1回はリモート)

○大島養護学校 (登録相談会、出張講座等)

《会議開催》

○令和2年度 障害者就業・生活支援センター連絡調整会議

日時：11月11日(水) 13:30～14:30

場所：奄美病院デイケアセンター 研修室

参加：40機関51名

今回は、コロナ感染防止の観点から奄美大島本島内の障害福祉サービス事業所、相談支援事業所、市町村役場、ハローワーク、教育機関、企業の担当者のみ参加。

※第1回大島地区就労ネットワーク会議と共催。

【指定特定相談支援事業所 チャレンジドサポート奄美】

管理者及び相談支援専門員 6名 (現任研修修了者 3名)

コーディネーター 1名を配置している。

1 計画相談実績

月	利用計画作成 (請求分)	モニタリング (請求分)
4月	7	161
5月	90	64
6月	24	84
7月	18	175
8月	46	105
9月	19	89
10月	14	98
11月	25	136
12月	27	69
1月	19	152
2月	29	111
3月	16	96
計	334 件	1340 件

2 障害児等療育支援事業実績

① 在宅支援訪問療育支援事業 (183 件)

- ・小児神経専門外来、発達療育相談
 - ・県立大島病院2回、奄美市2回
 - ・心理士相談（鹿児島大学心身医療科 川元臨床心理士 12回）
 - ・心理士相談（奄美病院 新田公認心理士 12回）
 - ・もぐもぐ相談（平原言語聴覚士、松永言語聴覚士）4回
 - ・やちやぼう相談（大山発達障害地域支援専門員）11回
- ② 施設支援一般指導事業（137件）
 保育所、幼稚園、学校、大島養護学校などからの申し込みを受け、専門スタッフを派遣して、療育に関する技術向上に向けての助言や支援を行う。
- ・発達障害地域支援専門員 大山氏
 - ・療育指導相談員 當島氏
 - ・県立大島病院理学療法士、作業療法士、言語療法士
 - ・発達サポートリハ龍郷作業療法士 楠元氏 言語聴覚士 里氏
 - ・鹿児島大学小児歯科 佐藤医師、橋口医師
 - ・菊野病院言語聴覚士 松永氏、そらまめキッズ 平原氏
 - ・中京大学現代社会学部教授 辻井氏
- ③ 外来相談支援、一般相談（7件）
 障害児、障害者に対して随時個別相談に応じる。
- ④ 障害者親の会
- ・就学児親の会（1回）
 - ・ダウン症親の会（1回）
- ⑤ペアレントプログラムの実践
- ・奄美市6回×2ヶ所
 - ・大和村6回
 - ・ペアプロ指導者資格認定者の集まりは行えなかったが、龍郷町やのぞみ園でペアプロを実施している。鹿児島県子ども療育センターのコーディネーター会議への参加（6回）及び巡回相談マネージメント
- 3 会議への参加
- 奄美地区地域自立支援協議会相談支援部会（毎月）
 - 精神部会（随時）
 - 子ども部会